



第192号

仙台市PTA協議会 TEL227-9545 FAX227-9218 E-mail siptakyo@joy.ocn.ne.jp http://www.pta-sendai.gr.jp



第22回 仙台市PTAフェスティバル 2025 11/9



PTAフェスティバル
実行委員長
佐藤 尚志

令和七年度第二十二回PTAフェスティバルは、サンモール一番町で「温故創新」伊達な街仙台から、新しいPTAのカタチをはじめよう」をテーマに盛大に開催されました。

伝統を大切にしながらも新しい試みに挑戦し、子どもたちの笑顔とともに、世代や立場を超えた幅広い交流が生まれた一日となりました。ステージ、展示、出店、体験ブースなどの各企画には、参加者の創意工夫と温かい思いが込められ、まさに「温故創新」を体現するフェスティバルとなりました。

また、今回初の試みである相談コーナー「それ Shi-P Kyou に聞かせてください」では、来場者数は限られたものの、訪れた方々の率直なご意見を伺うことができました。

このような場を通じて、PTA活動がより身近に、楽しく、自由な発想で広がることを



ステージ発表

願っております。

商店街の皆様をはじめ、多くの皆様のご協力により、本フェスティバルを無事開催することができました。心より感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

今年度も「サンモール一番町商店街」を舞台に、二か所でステージ発表を行いました。遠くまで響き渡る太鼓、かわいらしくもカッコいいチアダンス、大学生による寸劇、素敵な歌声の合唱、観客と一体となったアフリカンダンスなど、バラエティに富んだものとなりました。路上パフォーマーの活躍、臨場感溢れるステージでした。

実行委員で一つ一つ話し合いながら作り上げたPTAフェスティバル。準備期間を含めたこの三か月を通して、人々とのつながりがまた一段と強くなってきた気がします。

関わってくださった全ての方々に感謝を申し上げます。ありがとうございました。

(担当リーダー 木村ひろみ)



出店

今年度もサンモール一番町商店街を会場に開催しました。曇りや雨模様でしたが、アーケードのおかげで天候に左右されずに実施でき、良かったです。

WEB

昨年初めてこの会場で開催した際の電源トラブルを教訓に、今回は発電機を準備したことで、大きなトラブルもなく運営できホッとしています。

また、飲食ブースを出してくださったPTAの皆様、保健所申請についてもスムーズに進められました。

大勢の方にご来場いただき、楽しんでいただけたことを大変うれしく感じております。この経験を生かし、来年度はさらに楽しい企画ができるよう、アイデアを出してまいります。

ご協力、誠にありがとうございました。

(担当リーダー 菊池貴志)



今年度の学校紹介は「温故&創新」をテーマに、各校の特色ある取組を紹介しました。WEBサイトでの公開に加え、会場での掲示も再開し、多くの方にご覧いただきました。サイトでは各種コンクールの入賞作品も通常公開しています。さらに、Instagram、YouTube、出店ブースや出演団体の意気込みを発信し、大人も子どもも楽しめるイベントだと伝える取組を行いました。

ご協力いただいた皆さま、ご来場の皆さま、ありがとうございました。

(担当リーダー 及川綾香)

入賞おめでとう

令和7年度
各種コンクール入賞者紹介

オンライン仙台市PTAフェスティバルHP上で、
入選作品が掲載されています。是非、ご覧ください。

「守ろう大切な命」ポスターコンクール

「守ろう大切な命」キャンペーンから小学生・中学生の安全と心の健康、
よりよい仲間づくりの大切さを共に学ぶ機会の一つとして募集しました。

最優秀賞



【小学生の部】
上杉山通小 4年 梅津 千遥



【中学生の部】中田中 3年 阿部 美優菜

優秀賞

【小学生の部】

台原小 2年 渡邊 柊

西中田小 4年 渡邊 遥圭

七北田小 5年 佐藤あかり

秋保中 2年 千葉 絢子

【中学生の部】

東長町小 4年 佐々木彩晴

新田小 2年 石井 佳穂

泉ヶ丘小 6年 斎藤衣千花

大沢中 1年 八重樫レイナ

南光台東中 1年 結城 愛琉

佳作

【小学生の部】

荒巻小 4年 藤平 涼乃

北仙台小 5年 中野 莉央

秋保小 3年 土合 うみ

【中学生の部】

将監中 2年 宮 彩莉

将監中 3年 岩崎 大輝

南光台東中 3年 小嶋 寧々

岩切小 本宮 竜海

六郷中 菅野千鶴子

「家庭で話そう！楽しい子育てキャンペーン」三行詩コンクール

家族の会話やコミュニケーションから育まれるきずな・家族のルールなど、
家族で話し合い一緒に取り組むことをテーマとする作品を募集しました。

最優秀賞

【小学生の部】

学校のはなしをするお兄ちゃんを見ると、
ほっぺにこはんつぶ。
みんなで大笑い 家族で楽しい夜ごはん。

沖野東小 5年 瀧口 凜

【中学生の部】

「あなたは私の宝物」久しぶりに聞く言葉だった
母が言わなくなったのか 自分が聞かなくなったのか

将監東中 2年 伊藤 健

【一般の部】

少しずつ「ねえ とうさん」が減ってきて
「じぶんできるー」が増えていく
毎日成長するきみが うれしくもありさみしくもある

大野田小 菅原 敦

優秀賞

【小学生の部】

長町南小 4年 伊豆倉 慶

附属小 1年 榎本 絢美

【中学生の部】

将監東中 3年 東 葉那

将監東中 3年 千葉 那南

南光台東中 3年 大竹 夢陽

【一般の部】

柳生小 柳生 典子

柳生中 げんちゃん母(ペンネーム)

佳作

【小学生の部】

荒巻小 4年 藤平 涼乃

北仙台小 5年 中野 莉央

秋保小 3年 土合 うみ

【中学生の部】

将監中 2年 宮 彩莉

将監中 3年 岩崎 大輝

南光台東中 3年 小嶋 寧々

【一般の部】

岩切小 本宮 竜海

六郷中 菅野千鶴子

「大切なあなたへ」 標語コンクール

今年も保護者を対象にした
我が子を大切に思う気持ちを
標語に込めて表現する
コンクールを実施しました。

最優秀賞

【大丈夫】

娘のことばに ハットとする
信じる きもち 親の課題
長町南小 青沼 美里

優秀賞

腹が減っては
優しく 出来ぬ
沢山食べて、沢山寝よう
松森小 阿部 亜紀

ひたむきに
ボールを追う子
夢 叶え
桜丘中 齊藤 由美

北六番丁小 渡辺 望美

岡田小 高橋 正

新田小 斎藤 未来

西中田小 村上さゆり

虹の丘小 岡本 雅美

泉松陵小 神田 恭子

日本PTA全国研究大会・石川大会に参加して

仙台市立南中山小学校 PTA会長 安田 貴徳



「仲間」として意識する手法や活動内容に多くの受講者が耳を傾けていました。翌日の全体会では、「金沢子どもはしご登り教室」による「加賀とびはしご登り」の演舞から始まりました。記念講演として「能登の創造的復興と学びの環境」学習環境の魅力化あつてこそ「復興」をテーマに第73回日本PTA全国研究大会が開催されました。

浅野氏

は経済産業省に勤務されていた時代に、文部科学省とともに現GIGAスクール構想に携わり、現在の「未来の教室」の姿、様々な教育環境の魅力化に繋げてこられました。



本講演では、災害に強い地域づくり、特色ある生業の再建、暮らしとコミュニティの再建、誰もが安全・安心に暮らし、学ぶことができる環境・地域づくりの四つの柱を中心に、子どもたちの学びの環境の再建、魅力化を中心とした持続可能な復興について、災禍前の状態に戻すの

ではなく、先を見据えた未来志向の在り方について、これまでの具体例を挙げつつ説明をいただきました。

終わりに、全国では少子化の影響もあり、PTA活動の規模の縮小や休止、解散などの声も聞かれ、今後益々、全国的に少子化の傾向が見られる中、PTA活動の在り方や担い手となる役員含め会員の意識の向上が喫緊の課題となっております。

今般開催された全国研究大会では、分科会、全体会での基調講演による知識・技術の習得の他、聴講に全国から集まった「仲間」が一番の財産と感じました。難題や困難という壁が立ちました。た時、地域や場所の違い、自分たちには決して一人ではない。全国にこんなにも仲間がいることが大きなその一歩を踏み出す力になることと思います。引き続き、当市の学びの環境の魅力化の推進、発展に繋がるよう邁進してまいります。



指定都市PTA情報交換会

千葉市大会に参加して

仙台市PTA協議会

副会長 田牧 幸二

子どもたちのために持続可能な未来を」というテーマで第八十回指定都市PTA情報交換会千葉大会が九月十一日、十二日に開催されました。全国の指定都市PTA協議会の役員や関係者が一同に会しPTA間の連携を図ると共に、共通の課題を見つけその解決の方向性を検討することを目的に行われています。

一日目は一から四の分科会に分かれ、テーマごとに情報交換会が行われました。「持続可能なPTA組織と運営」、「今求められるPTA研修」、「地域とPTAができる不登校対応」、「PTAにおける広報紙とICT」、各分科会でグループディスカッションや活性化策などを見出して有意義な意見交換ができました。

二日目は「学校教育と不登校支援をつなぐ」を題材としたディスカッションが行われました。学校に行けない子どもたちの居場所としてフリースクールがありますが、個人に合った場所選びや支援の大切さが重要であると感じました。また、普通という呪縛に囚われずに柔軟に受け入れる必要があると感じました。多くの事を学ぶことができた二日間でした。

全国各地で記録的な猛暑日が続く八月下旬、石川県において、「サステナブルな未来づくりのために」創造と協働を石川から」をテーマに第73回日本PTA全国研究大会が開催されました。

初日は県内の各会場で、八つの研究課題をテーマに分科会が開催され、そのうちの第五分科会「学校が楽しくなる！仲間が集まる広報活動」一緒に新しい力ギを手に入れよう」をテーマとした広報活動の在り方について受講しました。分科会では、劇団員による寸劇で示されたPTA活動における現状と課題に対し、コーディネーターと三人のパネラーが具体的な解決策を論じ説明しました。

その中で、PTAを「仲間」と表現しているところが抽象的で、現在のPTA役員は、「推薦」や決まりだから、「仕方なく」といった風潮がみられる中、自薦による候補者が多い小中学校も見られ、

特色あるPTA活動紹介

「笑顔の光」

— 花火の灯りと5つ星の輝き —

仙台市立国見小学校

PTA会長 佐藤 幸平

国見小学校は、国宝・大崎八幡宮のすぐ近く、緑豊かな環境の中で、毎日元気に地域の皆様のお力添えをいただきながら、笑顔と思いやりにあふれる学校生活を送っています。

子どもたちの笑顔を支えるために、国見小PTAでは学校や地域と協力しながら、様々な取組を行っています。

夏の締めくくりに

「花火教室」を開催！

今年度は、役員の負担を軽減しつつ、地域とのつながりを大切にしたいという思いから、近隣の青葉消防署国見出張所をはじめ、消防団や婦人防火クラブの皆様のご協力のもと、夏休み最後の土曜日に「花火教室」を実施しました。

家族で安全に楽しく花火ができる場所を作りたいという思いから話し合いを重ね、実現したこのイベント。当日は天気にも恵まれ、約200名の児童・保護者の皆様に参加していただきまし

た。夕方からは各ご家庭で持参した手持ち花火に火を灯し、校庭にはそれ



ぞれにきらめく花火の光と花火を楽しむたくさんの子どもたちの声もたちの音が広がりました。

イベント

後半には、PTAが用意した吹き出し花火や打上花火も披露され、夜空を彩る光が校舎を照らすと、大きな歓声が上がりました。

保護者の方々からも「家族の夏の思い出が増えました」などたくさんのお声をいただき、子どもたちにとっても、すてきな夏の思い出になってくれていればうれしく思います。



思いやりの気持ちを形に

— ファイブスターシール —

国見小PTAでは、先生方と協働して「ファイブスターシール」という取組を行っています。これは、子どもたちが普段の生活の中で見せる「プラスワンの思いやり」のある言葉や行動など、「5つ星に輝くすてきな瞬間」を見つけたときに渡すシールです。

この取組のきっかけは、ある日の朝、通学路で旗振りをしていたとき、「いってきます」「おはようございます」という挨拶に加えて、何人もの子どもたちが「ありがとうございます」と声をかけてくれました。当たり前の一歩先にある、その自然な思いやりの言葉がとてもうれしく、国見小学校の子どもたちには、相手を温かい気持ちにさせる優しさがあふれていると、あらためて感じました。「この優しさを、ちゃんと形にして伝えたい」—そう思ったことが、この活動

の始まりでした。

PTAがデザインした十五種類のオリジナルシールはどれも子どもたちが喜ぶ工夫が施されており、それをプレゼントしながら、「どうしてもらえたのか」をしつかりと伝えることで、子どもたちは自分の良さを再確認でき、学校生活のあらゆる場面が「星に輝く瞬間」としてファイブスターシールに表れます。

「見てくれていて人がいる」「自分の行動が誰かを笑顔にしている」「そんな気づきを通して、自己肯定感を育み、子どもたちが自信を持って成長していけるよう願っています。」



国見小PTAとしての想い

PTA活動は仕事ではなく、子どもたちへの「思い」で成り立っている特別な組織です。だからこそ、本当の意味で「やる」時に、やれる人が、やれる範囲で「無理なく楽しく続けていくことを大切にしています。」

少しでも子どもたちの笑顔が増えるきっかけに私たちPTAがなれるように。そんな存在であり続けるために、変化を恐れず進化を続けながら、変わらな

いたために変わり続けながら、子どもたちが笑顔で安心して過ごせるよう、学校と地域とともに歩んでいきます。

花火の光が夜空を彩り、ファイブスターシールの「星」が子どもたちの心に輝く。その一つ一つの光に私たちPTAも照らしてもらいながら、子どもたちの「笑顔の光」を国見小PTAはこれから生み出していきたいと思っています。

編集後記

PTA仙台192号をお届けしました。例年同様に、今年の編集部も結成されたばかりで未経験者も多く、つたない部分もありますが力を合わせて作りあげました。

何よりの収穫は、編集会議を通して、働きながら子育てとPTA活動をすすめる生の声や、各学校でのPTAの違いやあり方を聞いたことです。学びもありましたし、そうだよねと分かち合えて励みになった所もありました。編集にご協力いただいた皆さん、本当にありがとうございました。そして読者の皆さん、どうか最後まで読んで頂き感想などお寄せ頂けたら今後の編集にお役立てできるかと思っています。

これからも「楽しい！ ためになる！」をモットーに精進してまいります。次号は3月発行予定です。お楽しみに。

(原町小学校 山田 宗基)

PTA仙台192号編集委員

委員長	麻生 信行 (黒松小T)
副委員長	吉野 信 (南小泉小T)
委員	佐藤 幸平 (国見小P)
委員	石井 恵子 (国見小T)
委員	山田 宗基 (原町小P)
委員	中村 司 (幸町中P)
委員	山田 一美 (六郷中P)
委員	高橋 あゆみ (蒲町中P)
委員	永野 健太 (柳生小P)
委員	高田 壘 (長町小P)
委員	早坂 圭博 (根白石中P)
委員	泉谷 稔 (七北田中P)